

富山県聴覚障害者 センターだより

- 協会とセンターのホームページ
<http://www.tomichokyo.or.jp>
- 手話通訳・要約筆記・ライブラリ・センター利用の「手引き」を配布しています。

あけましておめでとうございます。

今年もセンターをよろしくお祈りします。

施設長 小中栄一 職員一同

富山県障害福祉課と要望交渉を行いました。

2015年11月6日（金）の午後4時から1時間半、富山県に対する要望について、県障害福祉課と交渉をしました。県障害福祉課から課長、係長、主査の3名、協会から理事・監事の7人が出席しました。



- 富山県として手話言語条例の制定については、国の様子や他県の様子を見ながら情報を集めたい。県民の理解を得られるようにしていくことが必要。
 - 意思疎通支援事業の要綱、謝礼改定について財政が厳しいので簡単ではないが、勉強してきたい。
 - 障害者差別解消法・条例についてガイドライン策定と研修会開催等による啓発に取り組む。
 - 聴覚障害者に対する災害対策マニュアルについて、協会と連携して検討したい。
 - 北信越大会開催補助金は前回大会のときと同額で要求してみる。
- などの回答がありました。引き続き、意見交換や協議の場を作って粘り強く要望実現に取り組んでいきたいと思ひます。

出版物対策研究会議、第26回全国専従職員研修会 参加報告

2015年10月29日（木）～31日（土）、新潟県上越市にて、全日本ろうあ連盟の出版物対策研究会議・全国専従職員研修会が開催され、富山県協会からは専門部員の大楠航一郎を派遣しました。全国からは45名の参加がありました。



連盟の手話の本など、買う人が喜んでもらえるようPOP広告を使うなどの工夫をすること等の勉強をしました。富山県協会の書籍販売は一人あたりで計算すると全国で34位、低めでした。手話の普及を県全体で取り組んでいる鳥取県が上位とのこと。ろうあ運動を一人ひとりが考え工夫することが大切などの学習ができました。協会活動の強化、センター運営の活性化に繋がるよう活動していきたいと思ひました

（大楠航一郎）

センター利用の実績 11月21日～12月20日

- 来所者合計約869名
聴障者約398名、健聴者約461名
- コミュニケーション支援コーディネート104件
- ライブラリー貸出 5件16本
- 相談対応15件 ●部屋貸出57件

センター運営募金を

お寄せ下さい★

郵便振替口座；

00790 - 0 - 93002

名称；富山県聴覚障害者

センターを支える会